

ふれあい FUREAI



感染防止対策「3つのきほん」をおさらい
新型コロナウイルス感染症対策の一つ「手作り
マスクプロジェクト」(P7参照)で製作したマスク
を配布した和泉愛児園を、長崎知事が観光
キャラバン隊長・武田菱丸と訪問し、子どもたち
と一緒に「3つのきほん」をおさらいしました。

巻頭

新春知事メッセージ 知恵を結集し「コロナ後」の跳躍を誓う



新春知事メッセージ

知恵を結集し

「コロナ後」の跳躍を誓う

明けましておめでとうございます。

新年に当たり、まずは、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中、私たち県民の生活と生命を守るために、日々向き合ってきたさっている医療関係者の皆さんに、また、さまざまな形でこの厳しい状況を克服すべくご努力をいただいている全ての県民の皆さんに、深く感謝申し上げます。

2月から続く感染拡大の勢いは、本県においてもまだ収束の見通しが立たない状況にあります。

本県は、財政力こそ周りの都県とは比較にならないほど弱い状況であります。あらゆる知恵を結集することにより「山梨に関わる全ての命と生活を守り、さらにその先の成長と跳躍を図る」、そのために、引き続き全力で事に当たりますことを改めてお約束いたします。

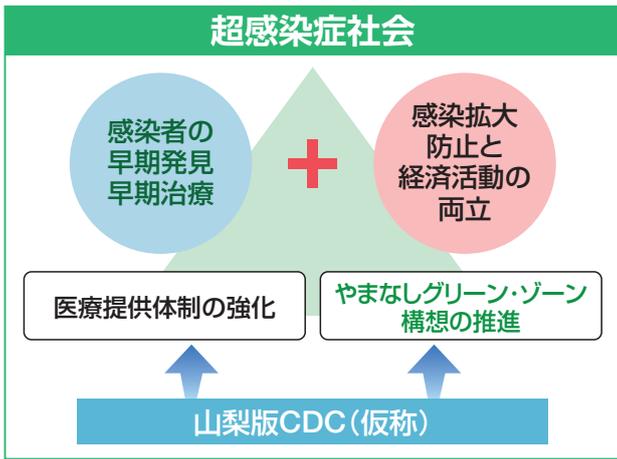
「超感染症社会」を目指す

令和2年は、新型コロナウイルス

感染症の脅威に対し「まずは県民の命を守る」を合言葉に、本県の感染症に関する医療体制を根本から再構築するために全力を注ぎました。

今でこそ申し上げますが、対策を開始した2月時点では、病床確保数だけでなく、防護服やマスクの準備に至るまで、本県の感染症への備えは「ほぼゼロ」でした。しかしながら、山梨大学をはじめとする関係者のご尽力をいただき、本県は全国に先駆けて、早期発見・早期治療により重症化を未然に防ぐ**感染制御モデルを実現する**までになりました。現時点においては、病床確保数はもちろんのこと、マスクなどの医療資機材の備えも十分な水準にあります。また、濃厚接触者だけでなく、感染のリスクがある方を広く検査の対象とし、速やかに検査を受けられる体制が整っています。

将来にわたって山梨を感染症から守り、生活と経済を動かし続ける「**やまなしグリーン・ゾーン構想**」は、海外からも注目されYAMANASHI



への評価が高まっており、多くの飲食店や宿泊施設などのご理解のもと着実に広まっている「やまなしグリーン・ゾーン認証」は、感染症が猛威を振るう状況下において**安心、信頼という新たな付加価値**を本県の経済にもたらしています。

加えて、国内外の専門家から知見の提供を受けながら、感染症対策の中核を担う専門組織「**山梨版CDC(仮称)**」を4月に設立することとしており、感染拡大防止と経済活動を両立させながら前進する社会（**超感染症社会**）の実現に向けて前進していきます。

令和3年は、山梨に新しい誇りが生まれる年になるはずだと、確信しています。

リニア中央新幹線の開業と同時に、山梨をチャンスと期待のあふれる場所にする、そのため、今年の本県の主要産業を高付加価値化する取り組みを本格化させます。

第一に、本県の主力産業である機

「**産業の高付加価値化**」

コロナ禍にあっても「山梨が日本の先頭に踊り出る」ための取り組みに停滞は許されません。常に「先手対応」の心掛けで、数々の布石を打っております。

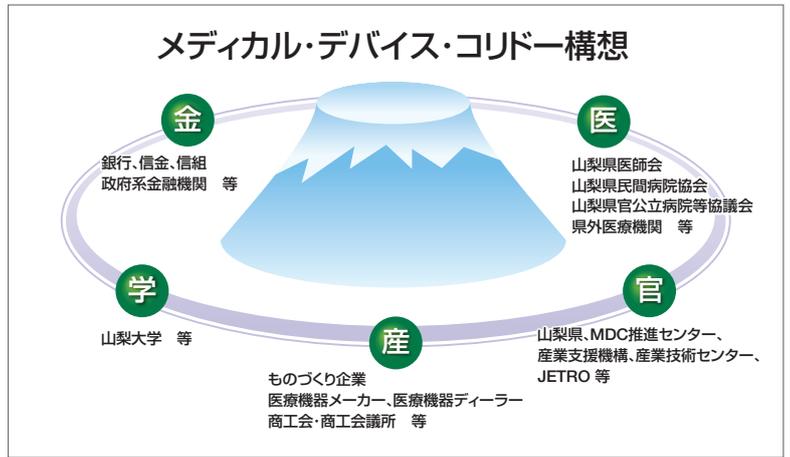
「先手対応」で
困難の中にも跳躍を



施設の感染防止対策が県の認証基準に適合しているか現地調査を行い、基準を満たした施設には「やまなしグリーン・ゾーン認証」マークを交付



静岡県・川勝知事と医療健康産業に関する協定を締結(令和元年12月)



水素・燃料電池の研究拠点となる米倉山のイメージ図

械電子産業に、世界市場でさらなる成長が見込まれる医療機器関連分野への進出を促す「**メディカル・デバイス・コリドー構想**」は、専門支援組織の設置や静岡県との連携強化により昨年来、順調に拡大しております。これにより、本県の基幹産業の安定とさらなる成長が期待できます。

第二は、全世界で市場が急拡大している水素・燃料電池産業です。既に本県にはこの分野の研究機関が高度に集積しておりますが、来年には日本を代表する研究機関である技術研究組合FC・Cubicが東京・お台場から甲府市の米倉山に移転します。今年から同地で始まる、太陽光発電による水素製造の実証実験と併せて、いよいよ山梨が**水素・燃料電池の研究開発において、日本の中心地**となることでしょう。

第三は観光です。ソーシャルディスタンス（人との間隔）が求められる状況のもと、観光の在り方も、薄利多売型から、一人のお客さんに、より多くの消費をしていただける**高付加価値型への移行**が求められます。「やまなしグリーン・ゾーン認証」が提供する「安心と信頼」は、この重要な付加価値です。また、歴史や文化など、これまで注目してこなかった観光資源の活用も今年の重要なテーマです。さらに、豊かな農産物や食材を活用したオリジナルの美食ブランドの創造などにより、本県の魅力自体を高めていきます。

第四は農畜水産業です。主力の果樹については、いよいよ世界的な消費地・中国へのブドウの輸出解禁が期待されます。これに備え、生産・流通・販売の一体的な輸出の枠組みを構築することにより、生産者所得の飛躍的向上に向けて大きな一歩を踏み出します。さらに他の農畜水産物についても、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが低迷する生産者などの支援につなげる「愛情♡やまなし農産物パック」などの活用、オリジナルブランド魚「富士の介」、高い評価を受けている「やまなしジビエ」などの県産食材を総合的にプロデュースし「ワイン県」プロジェクトと連動させながら、全国の

より多くの消費者に紹介し、新たな需要を喚起していきます。



プレスツアーを開催し、富士の介をPR



ポルトガルなど5カ国の駐日大使らを招いて、県産食材や観光資源をPR

困難をチャンスに変える

コロナ禍で本格普及したテレワークは、山梨に大きなチャンスをもたらしています。

これまでの本県の最大の課題は、主に新規学卒者などが仕事を求めて東京方面に流出することを主因とする「人口減少」です。しかし、テレワークの普及により、職場は距離的制約から解放され、もはや毎日、決まった場所に出勤しなくても仕事ができるようになってきました。

首都圏でありながら自然豊かな山梨だからこそ、これを最大のチャンスにすることが可能です。都市と地

方の双方に生活と仕事の拠点を持ちながら、個性豊かなライフスタイルの追求と就労環境を両立する「**二拠点居住**」の最も**有力な選択地**となるのです。このチャンスをさらに大きく、継続的なものとするために、令和3年は、テレワークや実証実験に取り組む大企業やスタートアップ企業を、コミュニティごと誘致する取り組みを本格始動します。オフィスや住宅の改修への補助はもちろん、会社設立のための経費をゼロにする

全国初の制度、さらには民間企業のアイデアを迅速に施策につなげる「官民協働プラットフォーム（仮称）」も始めます。



リニア開業を見据え企業誘致などを推進



ウイズ／ポスト・コロナ時代に対応する今後の山梨の価値などについて研究するやまなし自然首都圏構想研究会をオンラインで開催



4月から少人数教育を段階的に導入

子ども、お年寄り、 そして、働く世代の 安心のために

働く世代にとって最大の負担は、お子さんの教育とご両親の介護です。この最も重要な課題を解決することで、令和3年は、働く場所としての山梨の魅力がさらに増し、日本の先頭に向かう勢いをつくこととなります。

少人数教育、 そして教育立県に向けて

いよいよ「25人学級」を小学校1年生から導入するという**全国に例を**

見ない少人数教育が始まります。

言及されることはあまりないので、山梨の教育は、児童生徒の「自己肯定感の高さ」という点において全国最高水準を実現しています。これは、子どもの将来の成長にとって何よりも重要な要素です。少人数教育という最良の教育環境のもと、この美点をさらに伸ばし、21世紀の国内外を背負う甲州人育成に取り組みしていきます。

介護待機ゼロ社会を 目指して

もちろん、山梨で頑張ってきた方々も報われなければなりません。本県の高齢化率は全国より高く、在宅サービスの活用だけでは支えきれなくなった高齢者を受け入れる施設が必要で、現役世代の方々が、ご家族を介護するために、自ら離職せざる得ない状況を生まないためにも、近い将来、**介護待機ゼロ社会を実現**できるよう取り組んでいきます。

「少人数教育」と「介護待機ゼロ」を、県民の皆さんに新たな税負担を求めることなく実現するためには、県有地や公共施設などの不動産だけでなく、知的財産など「全ての県民の県有財産」を最大限に生かし、増収を図ることが重要です。この県有財産の価値を高める取り組みに本年



介護現場で働く方々から意見を聴き、施策などへ反映し、介護待機ゼロを目指す

早々着手し、この増収の全額を「少人数教育」と「介護待機ゼロ」の実現に充当します。

山梨県で 生活することを 誇れる明日に

「山梨県に生まれて良かった、育て良かった、そして学んで良かったと思える、そうして、生涯にわたり夢を育める仕事に恵まれる」、それが山梨県にとっての跳躍の姿でありたいと願っております。

そして、そのための環境は、コロナ禍にあっても、着実に整いつつあります。

一歩でも、たとえ半歩でも、それがきつと、山梨における新しい豊かさにつながると信じて、81万県民のために、私と全ての県庁職員が一丸となって、令和3年もあらゆることに果敢に挑戦し、前進し続けます。

令和3年1月1日

山梨県知事 長崎幸太郎

新型コロナウイルス感染症は一過性のものではありません。また、今後も未知の感染症が発生する可能性があります。このため県では、感染拡大防止と経済活動を両立できる「超感染症社会」を目指し、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、事業者を対象とした「休業協力要請の個別解除」と「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」を導入しています。これは他の自治体にはない山梨県独自の取り組みです。

感染症に強い「超感染症社会」を目指す

山梨県独自の取り組み

休業協力要請の対象施設

- 映画館 ● フィットネスクラブ
- カラオケボックス
- バー・スナック など
(接待またはカラオケを伴うもの)

※対象施設の詳細や個別解除を受けた施設一覧は県ホームページに記載

感染拡大予防 ガイドラインを作成・順守



県による休業協力 要請の個別解除

各種団体などが感染拡大予防ガイドラインを作成し、施設がこれを適切に順守する場合は、休業協力要請を個別に解除します。

休業協力要請 解除施設



やまなしグリーン・ゾーン 認証の対象施設

- 宿泊業 ● 飲食業
(接待またはカラオケを伴わないもの)
- ワイナリー ● 酒蔵

感染予防のための備品・消耗品購入や
キャッシュレス決済導入への支援金

対象：中規模以下の事業者、宿泊業者

活用

やまなしグリーン・ゾーン認証基準に
沿った設備改修工事への補助金

対象：小規模事業者(宿泊業・飲食業・ワイナリー・酒蔵)

やまなしグリーン・ゾーン認証を 申請・取得



県が定めた基準を満たす感染防止対策がとられているか
1件ごとチェックし、認証を与えます。

宿泊料金の
割引を支援

キャンペーンへの
参加登録が可能

やまなしグリーン・ゾーン宿泊割り

対象：認証を取得した宿泊業者

Go To Eatキャンペーン山梨

対象：認証を取得した飲食業者

感染予防のための備品・消耗品購入や
キャッシュレス決済導入への支援金

対象：中規模以下の事業者

活用

やまなしグリーン・ゾーン認証基準に
沿った設備改修工事への補助金

対象：小規模の飲食業者
(接待またはカラオケを伴うバー・スナックなど)

感染拡大防止と経済活動の両立
「超感染症社会」の実現へ！

12月7日時点での情報を基に作成されています。

福祉、産業、農業、教育などの各分野において、新型コロナウイルス感染症に対応するため、予算についても切れ目なく確保してきました。今後も「感染拡大防止と医療提供体制の整備」「県民生活に与える影響の最小化と新しい生活様式への対応」「県内経済の安定化・反転攻勢に向けた対策」の3つの柱を中心に、きめ細かな施策を実行し「超感染症社会」の実現を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症に対応するための関連予算

令和元年度	令和2年度			
2月補正予算	4月補正予算	6月補正予算	9月補正予算	11月補正予算
14億5,400万円余 (追加提案)	245億9,400万円余	382億4,900万円余 170億9,600万円余 (追加提案)	878億900万円余	58億700万円余

感染拡大防止と医療提供体制の整備

- 衛生環境研究所や医療機関におけるPCR検査機器の整備
- 医療機関における人工呼吸器、人工肺、簡易陰圧装置などの設備整備
- マスク、防護服、消毒液の確保および医療機関などへの配布
- 障害者就労支援施設と連携したマスク生産体制の構築(手作りマスクプロジェクト)
- 医療機関の病床および民間宿泊施設(宿泊療養施設)の確保
- 18歳以上の県民を対象とした無料歯科健診と口腔衛生指導の実施
- 65歳以上の高齢者などを対象としたインフルエンザ予防接種の無償化
- 医療従事者などへの応援金、慰労金の支給 など



手作りマスクプロジェクトの出荷式で園児にマスクを手渡す長崎知事

県民生活に与える影響の最小化と新しい生活様式への対応

- 低所得者などへ生活資金を貸し付ける制度の充実
- 低所得のひとり親世帯に対する臨時特別給付金の支給
- キャッシュレス決済導入や感染防止のための機器購入・設備改修を行う事業者への支援
- テレワークを導入する企業への支援
- 小中学校教員などの追加配置による児童生徒の学習支援
- 県立学校などにおけるICT教育の環境整備
- 修学旅行におけるバス台数や宿泊部屋数の増加に伴う追加経費の助成
- 公共施設や県立学校などにおける手洗い場の自動水栓化 など



ICT教育を進める道志村立道志小学校を視察する長崎知事

県内経済の安定化・反転攻勢に向けた対策

- 事業者の資金繰りを支援する新型コロナウイルス感染症対策融資制度の創設
- 融資の際に必要な信用保証料の補助や利子補給の実施
- 無尽の精神で飲食店を支援する「無尽でお助け目指せ100億円キャンペーン」の実施
- バス、タクシー事業者を支援する「地域公共交通利用促進キャンペーン」の実施
- 県内地場産品の販売促進を図るインターネット販売サイトの構築支援
- 県産農畜産物などを詰め合わせた農産物パックの販売
- 首都圏で働く人をターゲットとした二拠点居住の推進に関する事業の実施 など



農産物パックの販売により生産者を支援

皆さんへのお願い

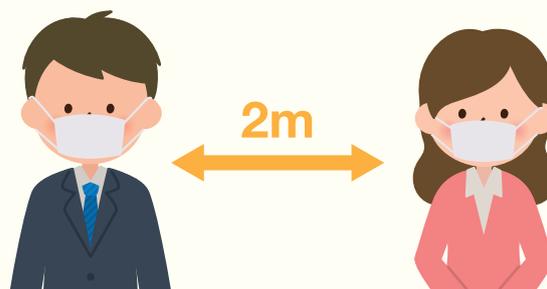
感染防止対策を徹底してください

家庭内や職場内、会食など、身近な場所での感染に特に気を付けましょう。また、家族や仲間内でも油断せず、感染防止対策の徹底をお願いします。

「3つの基本」を守りましょう

1

人との間隔は
できるだけ
2m(最低1m)空ける



2

会話の時などには
マスクを着用



3

手洗い(30秒程度)
を徹底



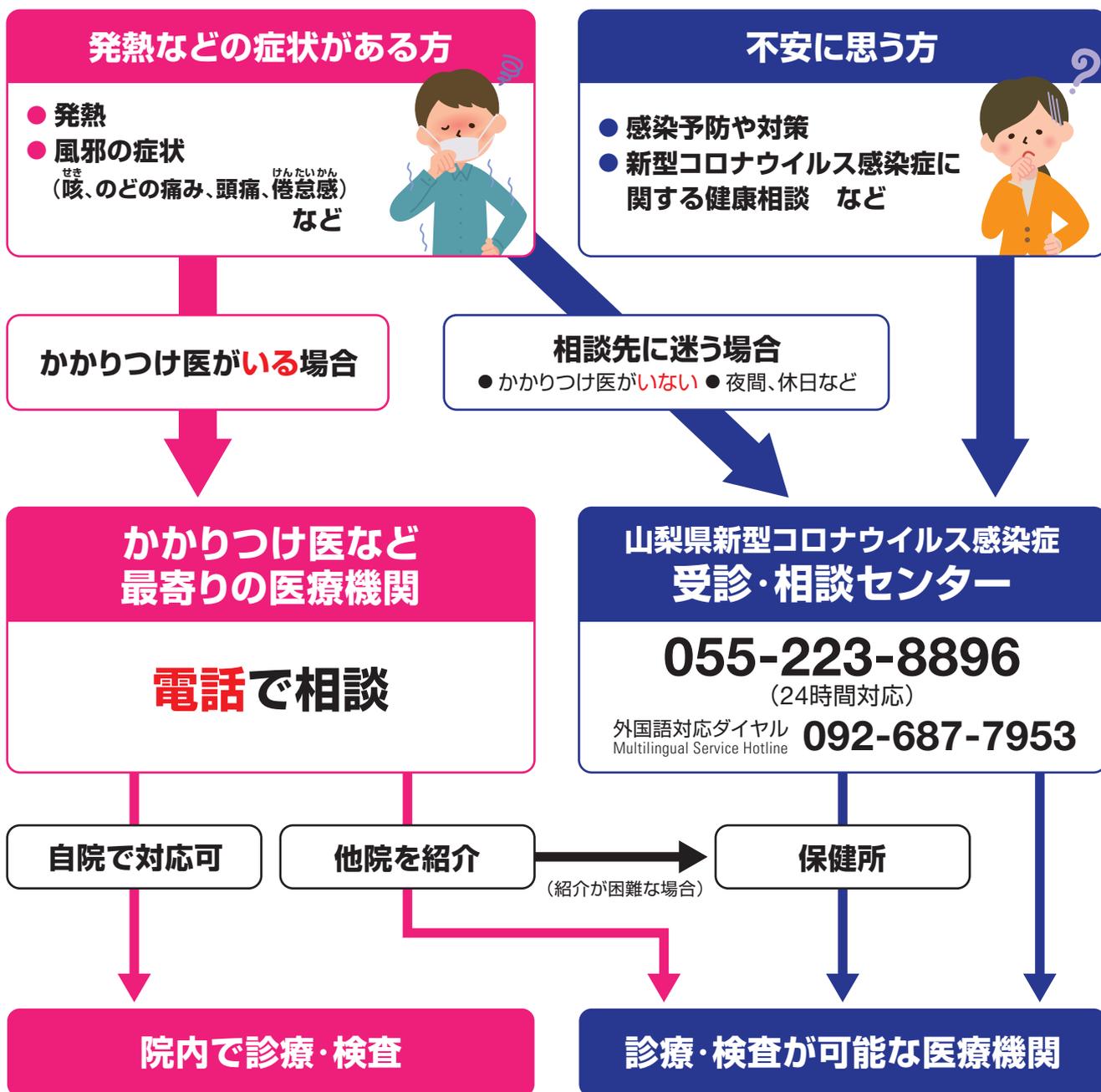
日常生活の習慣にしましょう

- 密閉・密集・密接となる場所を避ける
- 小まめ(30分に1回以上)に換気する
- 発熱や風邪の症状があるときは外出を控え、早めに相談する
- 会食は少人数・短時間で、感染防止対策が徹底された飲食店を利用する
- 初詣など混雑が予想されるイベントではさらに感染防止対策を徹底する

山梨県から県民の

発熱などの症状がある方の相談先

まずは、かかりつけ医など最寄りの医療機関に**電話**でご相談ください。



甲府市にお住まいの方で
相談先に迷う場合の連絡先は

甲府市受診・相談センター TEL 055-237-8952 (24時間対応)

詳しい情報は、県のホームページでご確認ください。

山梨 新型コロナウイルス





県内の保育に関わる参加者たちと、意見を交わす長崎知事

県民一人ひとりがパートナー

県民対話

知事と語る やまなしづくり

「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、県政の課題を把握したり、新たな施策の立案などに生かしたりするため、県民の皆さんと知事との対話の場を設けています。10月には、介護と保育に関する2回の対話を行いました。

今後も、知事が直接、さまざまな分野の方々から貴重なご意見を伺い、県政に反映していきます。

全ての子どもたちの可能性が花開くよう 保育環境が充実した山梨にしたい

「子どもを主役とした保育の提供」をテーマとした10月27日の対話には、県内の保育所経営者や保育士、学生など12名が参加しました。参加者からは、障害のある子どもの受け入れや支援、保育人材の確保、保育所における感染症予防対策のガイドライン策定の必要性など、現場におけるさまざまな課題や意見が出されました。

く保育士から、子どもたちが目を輝かせながら、自然と触れ合う遊びの中で、自ら学び、自ら考えている様子が紹介されると、知事は「実際に土や自然に触れると子どもたちの笑顔が違いますね。先生と子どもたちが、山で泥んこになったり、川に飛び込んだりして遊ぶ共通体験ができるのは、山梨ならではのですね。本県の豊かな自然を生かせる保育環境をセールスポイ



参加者の意見に耳を傾ける長崎知事



自然保育の大切さを語る保育士

「自然保育の推進に強い意欲を見せました。」
 さらに、保育士を目指す学生からの「園庭もあり、自然に囲まれた山梨で保育をしたい」「生まれ育った大好きな山梨で働きたい」との声には「幼稚園や保育所でこれから働こうとされている、また現在働いている方々にとって、魅



第2回の県民対話に参加した方々

力ある場所となるよう、取り組んでいきたい」と応じました。
 活発な意見交換が行われ、参加者の思いを受け止めた知事は「障害や家庭環境などに左右されず、全ての子どもたちが持つ可能性を引き出し、花開くような保育ができるのが山梨だ、という地域づくりを進めていく」と、対話を締めくくりました。

参加者からは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策による家族との面会や外出の自粛などで、利用者の元気がなくなったり、歩行が困難になったりするなど、影響が出ていることが報告されました。また、利用者視点の質の高いサービスを提供するためには、家族が安心して利用者を任せられる人材を育成することが重要で、そのためには職員研修の強化などが効果的であるなどの意見が上がりました。



介護現場の声を伝える参加者

10月13日には、県内の介護保険施設などに勤務する、介護アンバサダーをはじめとする介護職員や技能実習生など10名と「利用者視点に立った介護サービスの提供」について、意見交換を行いました。

利用者視点に立った介護サービスの提供とは

これらを受け、対話の最後に知事は「必要とするサービスを、利用者が待つことなく受けられる介護待機ゼロ社会の実現を目指していく。また、利用者が心身ともに豊かな生活を送れるようにするため、介護職員だけでなく、家族や地域の人たちと一緒に、オール山梨で支えていけるよう、市町村とも相談しながら施策に反映させていきたい」と決意を語りました。



第1回の県民対話に参加した介護従事者の方々

電気自動車を活用した災害連携協定締結式



県庁で行われた協定締結式。左から日産プリンス山梨販売(株)野田社長、日産自動車(株)後藤理事、長崎知事、甲斐日産自動車(株)井上社長

災害に強い 電力供給体制をつくる

近年、自然災害による被害が全国各地で多発しており、大規模な停電が住民生活に深刻な影響を及ぼす事態も生じています。このような状況に備え、県は「山梨県電力供給体制強化戦略」を策定し、関係機関と平時から連携して、災害時の重要なライフラインである電力の供給体制を強化するため取り組んでいます。

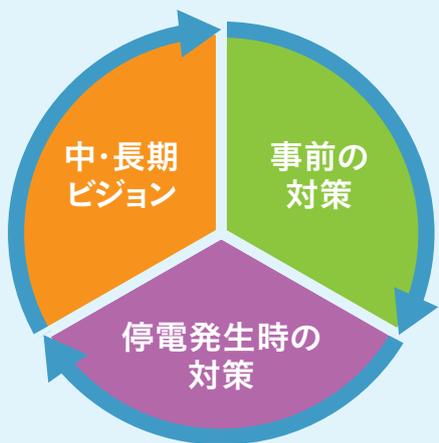
戦略の三本柱

災害時の電力供給体制の強靱化に向け、戦略では「電力供給インフラ被害の最小化」「大規模停電からの早期復旧」「災害に強いエネルギーシステムの導入」の三つを掲げ、その実

現に向けた具体的な取り組みや実施計画などを示しています。また県は、東京電力パワーグリッド(株)と、発電車の派遣やヘリコプター映像の相互利用などについて定めた覚書を取り交わし、連携体制を構築しました。

戦略の概要

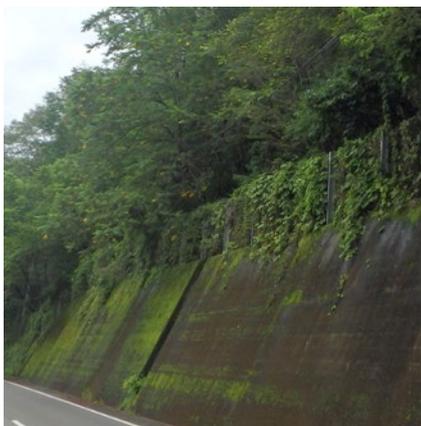
東京電力パワーグリッド(株)管内の都県で、初の戦略策定



- 1 電力供給インフラ被害の最小化**
 - ・二次被害対策(事前伐採など)の強化
 - ・電力供給設備の強靱化
- 2 大規模停電からの早期復旧**
 - ・情報収集体制の強化
 - ・復旧作業への支援・協力
 - ・応急電源の確保
- 3 災害に強いエネルギーシステムの導入**
 - ・社会的な重要施設への非常用電源の導入
 - ・地域への自立・分散型エネルギーシステムの導入

事前伐採で停電を予防

暴風を伴う台風の直撃を受けた場合、山間地を多く抱える本県では、倒木や飛来物による停電被害が、相応な規模になるおそれがあります。このため、電線などに被害を及ぼす可能性のある樹木の事前伐採に、特に力を入れています。



県道沿いでの事前伐採実施前後の様子(写真提供:東京電力パワーグリッド(株))

事前伐採を効率的に行うには、県と市町村、電力会社などの連携が重要です。本年度は、北杜市や南部町で、道路管理や森林整備と併せた事前伐採を行っています。今後、この取り組みを多くの市町村に広げていきます。



森林整備と併せ実施した事前伐採の様子

災害時における避難所の電力確保に向けて

避難所の停電対策として、9月に日産自動車(株)などと災害連携協定を締結し、停電時に電気自動車を用いた非常用電源として活用することとしました。

また、孤立化が懸念される避難所の電力確保のため、ハイブリッド式発電機などを購入する市町村への補助制度を創設し、導入を推進しています。



協定締結式後に行われた電気自動車の給電デモンストレーション

今後も、さらに多くの自動車会社などとの協定の締結を進め、また、市町村と連携して避難所の電力確保に取り組んでいきます。

水素エネルギーを活用した実証実験を実施

11月に実施した地震防災訓練では、トヨタ自動車(株)と(株)ホンダ技術研究所が共同開発した、移動式の発電・

給電システム「Moving e」を使った実証実験を、都道府県として初めて行いました。

実験では、水素を利用した燃料電池バスから充電したバッテリーを避難所などに持ち込み、換気用の扇風機やスマートフォンの電源としての効果を確認しました。

県では、今後も戦略に基づき電力供給体制の強靱化を進め、災害発生時の停電による影響が少なくなるよう取り組んでいきます。



「Moving e」のバッテリーで動かした換気用の扇風機



燃料電池バスからバッテリーに充電

【問い合わせ先】 避難所の電力確保については 防災危機管理課 TEL 055-223-1432 FAX 055-223-1429



給食メニューの甲州牛を具材にしたすきやき風煮をうれしそうに手にする児童(甲斐市立敷島北小学校1年生)



甲州地どりのうま味を生かした親子丼をメインにした学校給食の献立(南アルプス市立北部学校給食センター調理)



販売ブースで郡内織物について説明を受ける静岡県の川勝知事

需要が低迷する 県内経済を全力で後押し

新型コロナウイルス感染症拡大により大きな痛手を受けている県内経済の安定化、その先の反転攻勢に向け、県では、農畜水産物など地場産品の消費・販路拡大を支援しています。

おいしさや魅力にあふれた
甲州牛や甲州地どりを
学校給食の食材に提供

外食需要やインバウンド需要が減少し、農畜水産物の生産者は価格の低迷や在庫の増加に苦しんでいます。県では、生産者への支援策の一つとして、小中学校などの学校給食に、甲州牛や甲州地どりを食材提供して需要を下支えしつつ、児童生徒に県産食肉のおいしさや魅力を伝える食育を行っています。

山梨の特産品を静岡県の皆さんへ
直売イベントを開催

静岡県と協力し、両県の特産品をお互いに購入し合う取り組み「バイ・ふじのくに」の一環として、10月24、25日に静岡市で山梨物産市が開催され、本県の高品質な特産品を販売する12事業者が出店しました。農畜水産物のほか、ワインや郡内織物のネクタイなどの特産品が持つ魅力が伝わり、大きな売り上げとなりました。

【問い合わせ先】 食材提供については 畜産課 TEL 055-223-1605 FAX 055-223-1609
山梨物産市については 農政総務課 TEL 055-223-1581 FAX 055-223-1585

《織物》

① 配信されたウェブ広告をクリック



《ジュエリー》



地場産品の
インターネット販売などを応援

産地組合の販売サイトや、インターネットを使った情報発信を多くの方に向けてもらえるよう、県ではウェブ広告やホームページで紹介をしています。「織物」「ジュエリー」「伝統工芸品」「日本酒」「ワイン」といった、山梨の良いもので生活に彩りを添えてもらえるよう、その魅力を伝えています。

② 県ホームページから ③ 関連コンテンツ(リンク)へ誘導



ウェブ広告配信から
インターネット販売までの流れ

- インターネット上で、本県の地場産品に関心のある層から今後利用者となり得る層までをターゲットに、ウェブ広告を配信。広告をクリックすると県の専用ホームページ「やまなしのスペシャルティ」が表示される。
- 表示されるホームページでは、地場産品を紹介してその魅力を伝えるとともに、地場産業の各組合が運営するサイトなど、関連コンテンツのリンクを掲載する。
- リンク先の関連コンテンツでは、利用者がオンラインで地場産品の買い物を楽しんだり、より詳細な産地の情報を知ったりすることができる。

ウェブ広告からでなくても、県ホームページは閲覧できます。

やまなしのスペシャルティ



**新ブランド設立や
オンラインショップサイト構築など
生産者や産地組合の取り組みも支援**

県印章店協同組合が進める、手彫り技法の意義や魅力をより広く伝えるための新ブランド「甲州手彫印章 伝匠印」の設立や、県酒造協同組合による販路拡大に向けたオンラインショップサイトの構築、ほかにも販売促進イベントの開催を支援するなど、生産者や各産地組合の取り組みに対して、県は後押しをしています。

農業サイドから地球温暖化の抑制に貢献

果樹王国ならではの 取り組みがあるらしい？



地球温暖化が急速に進んでいるとニュースなどでたびたび取り上げられています。県では何か対策をしているのかな、と思い調べてみました。実はこれまでにはない方法で、全国に先駆けて温暖化の抑制につながる取り組みに参加しています。それが「4パーミル・イニシアチブ」です。これは、温暖化の原因になっている温室効果ガスの一つである二酸化炭素(CO₂)の発生を抑えるために、土壌の炭素量を年間0.4%増やしていく国際的な取り組みです。

地球温暖化の抑制に向けて、山梨県ならではの対策って何かしているんですか？

アネ「4パーミル・イニシアチブ」という、国際的な取り組みに参加し、県内の果樹園で剪定した枝を、炭(バイオ炭)にして活用する研究を進めています。

炭が温暖化の抑制に役立つんですか!?

はい、バイオ炭にすることで炭素を閉じ込めることができます。地中に埋めれば土壌の改良にもつながるんですよ。

すごい!果樹王国やまなしにふさわしい画期的な取り組みですね!

ユーチューブで配信している「山梨チャンネル」でも詳しく紹介しているので、ぜひ、見てくださいね!

ワタシたちが
レポートを
作成しました!



山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科
4年 小林 実結さん 2年 川田 萌乃さん



私たち若者が興味を持ち、情報を広めることが取り組みの普及につながると感じました。

この山梨から全国の、そして世界の環境を変えていく意気込みで一緒に頑張っていきたいと思います！

バイオ炭の活用法の研究を進めていけば農地が豊かになると思います。

私が説明させていただきました！



農政部長 坂内 啓二さん

山梨県は、農業サイドから地球温暖化を抑制する「4パーミル・イニシアチブ」に、日本の地方自治体として初めて参加しています。今後は、他の自治体にも積極的に呼び掛け、参加してもらうことで地球温暖化を抑制していきたいです。

CHECK!

「4パーミル・イニシアチブ」とは？

世界の土壌の炭素量を年間0.4%増加させれば、人間の経済活動によって放出される大気中の二酸化炭素を実質ゼロにできるという考えに基づいた国際的な取り組みです。令和2年9月現在489の国や国際機関が参画しています。

4%₀₀(パーミル)

||

0.4%

県は、特産品のブドウやモモなどの果樹が、光合成によってCO₂をたくさん吸収していることに着目しました。このCO₂を炭素として土壌に閉じ込めることができれば、温室効果ガスの削減に大きく貢献することが可能だと考えたのです。まさに、果樹王国ならではの取り組み方です。そこで、県は樹形を整えるために剪定した枝を、専用の機器を使って炭（バイオ炭）にして埋める方法を考えました。剪定した枝を焼却する従来の方法では、果樹が吸収したCO₂が大気中に放出されてしまうのに対し、バイオ炭にして埋める方法なら、半永久的に炭素として地中に閉じ込めることができます。それによって大気中のCO₂の増加は抑えられ、さらに土壌改良の効果も期待できるそうです。この日、私たちが訪れた果樹園でも、剪定した枝をバイオ炭にする実証試験の準備が進められていました。

県では、これまでも温暖化により気温が上昇しても適応できる農産物の品種改良などを行っていたそうです。しかし、今回は環境問題と直に向き合い、農業サイドから温暖化を抑制していく、つまり適応型から抑制型への新たな取り組みに挑んでいるのです。そこには新たな付加価値の創造もあります。「4パーミル・イニシアチブ」に取り組む農園で栽培された環境に優しい果物を、山梨の新しいブランドとして認証していく取り組みも進められているそうです。

「4パーミル・イニシアチブ」を通して温暖化を抑制するだけでなく、身近なブドウやモモなどの果物を付加価値のある特産品にすることができ、まさに果樹王国である山梨県にふさわしい取り組みです。みんなで応援していきたいですね。

【問い合わせ先】 農業技術課 TEL 055-223-1619 FAX 055-223-1622

山梨県の職員数・給与のあらまし

令和2年4月1日現在、1万2千人を超える職員が県民生活と密接に関わる仕事に携わっています。福祉・保健・環境、産業振興、基盤整備などの一般行政部門をはじめ、県立高校や市町村立小・中学校、警察など、県のさまざまな分野で働く職員の数や給与の状況をお知らせします。

職員数の状況

行政改革大綱に基づき、平成23年4月1日までに組織や事務・事業の見直しなどを行い、職員数の削減に取り組みました。令和2年4月1日現在、総職員数は1万2432人となっています。

●年度別部門別職員数

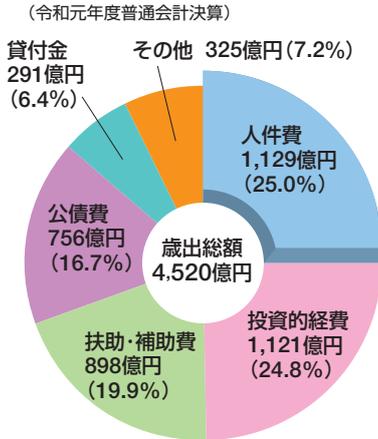
(各年4月1日現在)

区分	年度	H28	H29	H30	H31	R2
総職員数		13,043	12,962	12,959	12,863	12,432
一般行政		3,037	3,019	3,029	3,020	3,000
教育		7,939	7,869	7,838	7,759	7,321
警察		1,960	1,966	1,976	1,969	1,973
公営企業等		107	108	116	115	138

※R2年度は臨時的任用職員を含まない

●歳出に占める人件費の状況

(令和元年度普通会計決算)



令和元年度普通会計決算における人件費の歳出額は1129億円で歳出全体の25.0%となっています。平成31年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、100.7となっています。47都道府県中7位です。

給与などの状況

職員の給与は、県内の民間企業における従業員の給与、生計費、国や他の都道府県における職員の給与などを調査・研究した人事委員会からの報告と勧告を踏まえ、県議会の審議を経て、条例で定められています。

●平均給料月額および平均年齢の状況

(令和2年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	335,856円	43.1歳
小・中学校教育職	365,365円	43.4歳
高等学校教育職	397,639円	47.1歳
警察職	316,998円	36.9歳

●初任給の状況

(令和2年4月1日現在)

区分	給料
一般行政職	大学卒 190,115円
	高校卒 156,061円
小・中学校教育職	212,381円
高等学校教育職	212,381円
警察職	大学卒 217,418円
	高校卒 185,077円

●特別職の給料月額などの状況

(令和2年4月1日現在)

区分	給料・報酬
知事	1,250,000円
副知事	960,000円
議長	910,000円
副議長	820,000円
議員	770,000円

【問い合わせ先】 人事課 職員数については TEL 055-223-1372 FAX 055-223-1379
給与については TEL 055-223-1373

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



NEWS 令和3年は誕生150年の節目! 山梨県のロゴマーク決定



石原さんがデザインした山梨県ロゴマーク
 ログタイプはこのほかに「YAMANASHI」「山梨」があります

明治4(1871)年に、県の名称が山梨県と改められてから、令和3年11月に150年の節目を迎えます。そこで県民の皆さんに、改めてふるさと山梨への思いを共有していただくとともに、さまざまな場面で活用できる県のロゴマークを作成しました。

県民や県にゆかりがある方から幅広くデザインを募集し、甲斐市の石原悠一さんの作品を選定しました。富士山を四角すいにデフォルメし、正面から見える2面に、新緑の山々や県土に流れる清流、ブドウをイメージできる紫色を配したデザインで山梨を表現しています。

山梨をPRする素材として、ぜひご活用ください。

山梨県ロゴマーク



【問い合わせ先】 県民生活総務課 TEL 055-223-1350 FAX 055-223-1320

NEWS いざ出陣! 信玄公生誕500年



信玄公生誕500年記念事業のコンセプトデザイン

大永元(1521)年に武田信玄公が生まれてから、令和3年は500年目となります。全県を挙げてお祝いするとともに、多くの方に信玄公の功績を再認識していただき、未来につなげていきます。

2月20日に開催するキックオフイベントを皮切りに、郷土の英雄を旗印としたさまざまなイベントを準備しています。生誕500年記念事業の詳細は、公式ツイッター(@500shingen)や特設サイトで随時、情報発信していますのでご覧ください。



公募で決定した東京都の占部博士さん作成の公式ロゴマーク

特設サイトへは
 二次元コードから



◆ 信玄公生誕500年記念事業 キックオフイベント開催

内容:

- ◆ 豪華ゲストによるトークショー
- ◆ 「あつまれどうぶつの森 甲斐のくに信玄島^{じま}」
- ◆ 各市町村ブース など

日時:2月20日(土)

場所:甲府駅北口
 よっちゃばれ広場

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更になる場合があります

【問い合わせ先】 観光資源課 TEL 055-223-1573 FAX 055-223-1558

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



商品提供: 農業生産法人株式会社 | JAPAN

「甲斐の黒にんにくカレー」抽選で**10名**の方に!

「美味しい甲斐開発プロジェクト」については、ホームページをご覧ください。

美味しい甲斐



アンケートに答えて応募しよう!

【アンケートの回答】と次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス(ある方)

●アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容は?

問2: 令和3年の山梨にとって必要なことは?

※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

●応募先

山梨県広聴広報グループ「ふれあい読者プレゼント」係

はがき: 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール: koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあい読者プレゼント」と入力)

ファクス: 055-223-1525

●締め切り

1月31日(日)(当日消印有効)

賞品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。個人情報は賞品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただくことがあります。

多言語翻訳や音声読み上げに対応したデジタルブック

カタログポケット



「ふれあい」の誌面がそのままパソコン、スマートフォン、タブレットで閲覧可能です。

《FUREAI》雑誌の电子版可以在智能手机或者平板电脑客户端阅览。(中国語・簡)

You can now read pages from Fureai directly on your smartphone, tablet, and other devices. (英語)



Google Play



App Store

こちらを使うと簡単にダウンロードできます。または「Google Play」「App Store」で検索

スマートフォンを使って「ふれあい」をもっと身近に

スマートフォン専用
Webサイト



「ふれあい」の誌面をスマートフォン専用のWebサイトでもご覧いただけます。言語切替が可能で、ページが縦と横にスクロール表示されるので、スマートフォンで読みやすくなっています。



県政情報発信中!

県ホームページ



Facebook



Twitter



広報番組



広報誌



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

やまなしの県有林は、森林管理
認証を取得し、世界的な基準で
豊かな森づくりを行っています。



やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、FSC®森林管理
認証を取得した山梨県有林からの
木材が使用されています。